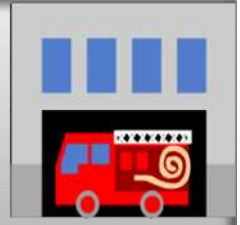


消防かわら版



草焼きバーナーの使用について

草焼きからの火災にご注意を！

市販されている草焼きバーナーやガスバーナーで火を使い敷地等の除草をする行為は、煙や火の粉が飛び散ることが多く、実際に消防署へ近隣住民からの苦情が増えており、昨年は草焼きバーナーによる野火火災が実際に発生しております。

また、集めた草を燃やすのは「野焼き」となりますのでおやめください。

廃棄物の処理に係る法律で「野焼き」は、一部の例外を除き、禁じられており、悪質な場合は、罰金、懲役等の厳しい罰則が科せられる場合があります。

その他にも、近隣トラブルの原因ともなり得ますので、十分注意するようお願いいたします。

その行為、危険！！BBQは楽しく♪

これから夏を迎え、バーベキューをする機会が増えてくると思います。しかし、楽しいバーベキューにも火を使用することから、様々な危険が潜んでいます。

BBQ注意事項

1. BBQに消毒用アルコール使用は危険です。

燃えている炭に消毒用アルコールを振り掛けたり、手の消毒をした直後に、火を使うと一気に燃え広がり大変危険です。5月には福岡の専門学校で誤った消毒用アルコールの使用により、多数の負傷者や、尊い命が失われました。アルコールは大変燃えやすいため、取扱いには十分注意しましょう。

2. 着火剤の継ぎ足しはやめましょう。

着火剤の成分には、消毒用アルコールと同じく引火しやすい成分が使われているため、途中で継ぎ足しをすると大きく炎が上がったり、爆発する恐れがあります。

3. 燃えやすい物との距離や風向きに注意しましょう。

火の粉が飛んで、周りの燃えやすい物に火が付く危険性があり、周りの迷惑にもなるため注意しましょう。

4. 使用後の炭の消火を確実にいきましょう

水をかけただけでは内部にまで水が浸透せず、わずかに残った火種から再燃する可能性があります。火消し壺等を事前に用意しておきましょう。



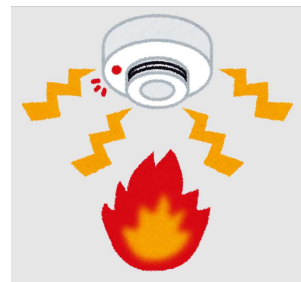
住宅用火災警報器の維持管理について

住宅用火災警報器は約**10年**で本体内部が劣化すると言われています。いざという時に備えて点検をしましょう。

お手入れをしましょう

住警器にホコリなどは付いていませんか？

住警器に付いている汚れはこまめに掃除しましょう。

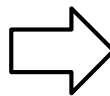


点検の仕方

点検ボタン又は、点検ひもを作動させ作動確認をしましょう。



作動確認をしても警報器に反応がない場合



電池切れ又は、故障です。10年経過した警報器は本体を交換しましょう。

お買い求めする際は

住宅用火災警報器は規格が定められており、規格外の商品が一部ネットサイトで販売されているため右図の検定マークが表示されている商品をお買い求めください。



(検定マーク)

花火による火災に注意しましょう

- ①花火をするときは水バケツなどを準備してから行いましょう。
- ②終わった花火は、水に浸すなどして確実に消火しましょう。
- ③子どもだけで花火はやめましょう。
- ④花火の近くでは、火気の取扱いや喫煙などをしないようにしましょう。



火事と救急は119番 火災等の情報案内は88-1515番

登別市消防本部・登別市消防署

85-9611

85-2551



本紙に関する問い合わせは登別市消防署警備グループ(85-2551)までお願いします